

きょういくいいんかい 教育委員会からのお知らせ

いばらきし がっこうきょういく 茨木市の学校教育

いばらきし つぎ たいせつ がっこうきょういく
茨木市では、次のことを大切にして学校教育をすすめています。



1 基礎基本の定着と、自ら考え、判断し、行動する力の育成

こどもたちが学習の基礎基本を確実に身につけるため、指導の方法を工夫・改善するなど、創意工夫を生かした教育活動をすすめます。

2 地域に開かれた特色ある学校づくり

子どもたちの実態や地域の実情に応じた、特色ある学校づくりをすすめます。

3 人権を尊重する教育の推進

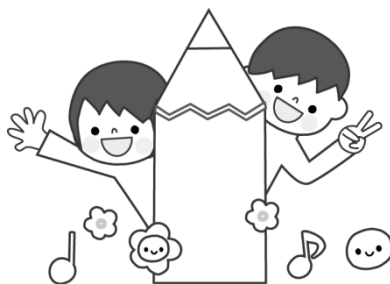
豊かな人権感覚をもち、さまざまな人権問題の解決に向けて自ら行動できる子どもたちの育成をめざします。

4 学校と家庭・地域の連携による「総合的な教育力」の再構築

学校を核とし、地域の方々と子どもたちの教育のために協働できるよう、学校と家庭・地域社会の連携をすすめます。

5 教職員の資質向上

学校組織の一員として個性や能力を活かして協力し合い、子どもたちや保護者のみなさんに信頼される魅力ある教育活動をすすめます。



給食について

茨木市では、市内全32小学校の児童全員に、パン・米飯、牛乳、おかずの完全給食を実施しています。給食を通して、好ましい人間関係を育て、正しい食生活の大切さを学びます。

- 1 給食の献立は栄養教諭等が作成した原案にもとづき、教頭先生の代表、給食担当教職員、栄養教諭等、調理員代表で組織された献立作成委員会において決定します。

栄養のバランスはもちろんのこと、旬の食材や時期ごとの行事等にもつわる献立なども、積極的に取り入れています。

- 2 食材については、無添加のものや国内産のもの、有機栽培、特別栽培、非遺伝子組み換えのもの、地場産のものをできるだけ使用しています。

調理については衛生面に配慮し、加熱調理を中心としています。

なお、各学校で給食試食会が開催されています。実際に給食を試食していただき、栄養教諭等によるくわしい説明をお聞きいただけます。ふるってご参加ください。

- 3 給食は週5回実施しますが、学校行事等のため中止するときもあります。

給食費は1食あたり下記の金額となり、毎月回数に応じて徴収します。

1・2年生…220円 3・4年生…230円 5・6年生…240円

- 4 食物アレルギー児童への対応

食物を原因としたアレルギー児童への対応については、「鶏卵及びうずら卵」（平成31年4月現在）を基本として除去食を実施しております。該当される児童がおられる場合は、学校へ問い合わせのうえ、除去食の申し出をおこなってください。（アレルギー除去食申請書）

また、パン・米飯や牛乳の飲食を医師から止められている児童には、パン・米飯・牛乳等を止め、代金を減額するなどしておりますので担任まで申し出てください。（学校給食費減額申請書）各々申請には医師の学校生活管理指導表が必要になります。

給食調理には、なたね油のほか、ごま油・オリーブオイル・米油を使うこともあります。デザートについては代替を用意できることもあります。

加工品等のくわしい内容については担任・栄養教諭等にお尋ねください。

- 5 給食の停止・再開について

学校給食を停止（休日を除く連続3日以上）しようとする場合は、学校給食停止（再開）

届を提出してください（けがや病気による長期欠席・転出…平日3日前まで、その他の理由…前月の15日まで）。また、再開する際は、平日3日前までに学校給食停止（再開）届を提出してください。なお、給食を停止する手続きをされない場合は、給食費はそのまま徴収されますので、ご注意ください。

6 各申請様式や給食費に関する保護者向け冊子（就学時健診の際に配付）、毎月の献立は市のホームページよりダウンロードできます。

その他、給食にかかわることは、各学校にお問い合わせください。

健康について



＜健康＞

各学校には、健康診断、健康相談、救急措置等を行うため、保健室が設置されています。子ども達が元気に学校生活を送れるよう、お手伝いしています。

- 1 家庭での健康観察を十分に、異状があれば早めに担任に連絡してください。
- 2 「健康の記録」や「保健だより」等をよくご覧いただき、お子さんの健康状態を把握してください。
- 3 1年生は、1学期中に、身体測定・内科検診・結核検診・心電図検査・歯科検診・視力検査・耳鼻科検診・眼科検診・聴力検査・尿検査などを実施します。
病気等の疑いがあれば、お子さんが治療勧告用紙を持って帰りますので、早急に医師に診てもらってください。
- 4 学校でのケガや病気の場合、緊急に保護者に連絡をとり、迎えに来ていただいたり、病院に同行していただいたりする時があります。学校は、入学時にご提出いただきました「健康調査票」をもとに連絡します。「健康調査票」にご記入いただいた内容に、変更があった場合は、必ず担任にご連絡いただきますとともに、当日、長時間外出予定のときは、お子さんに知らせておいてください。
- 5 学校感染症にかかった場合は、「欠席」ではなく「出席停止」になります。これらの病気にかかったら、学校へ連絡してください。そして、病気が治り、医師の許可が得れば登校してください。（医師の診断書はいりません。）
学校感染症には、インフルエンザ・はしか・おたふくかぜ・風疹・水ぼうそう・プール熱等も含まれます。医師の指示にしたがい、ゆっくり休みましょう。

※1 特にインフルエンザについては、次のことに留意し、ご協力をお願いします。

- ① 日頃からバランスのとれた食事・十分な睡眠をとるなどの健康管理に努め、また、手洗い、うがい、咳エチケットなどの感染予防対策を行ってください。
 - ② 基礎疾患がある児童については、主治医と相談し、ご心配な点がありましたら、学校と十分連携をとってください。
 - ③ インフルエンザと診断された場合は、至急、学校に報告してください。
- ※2 親戚にご不幸があったときも、「欠席」ではなく「忌引」になりますので担任に連絡してください。（児童との続柄で、日数が以下のように違います。）

父母…7日以内、兄弟姉妹・祖父母…3日以内、その他の親族…1日以内

（遠隔地に行く必要のある場合には、往復日数が加算されます。）

6 日本スポーツ振興センターについて

- ① 学校管理下で事故が起きたときは、日本スポーツ振興センターから、治療費の一部が支給されます。この「学校管理下」とは、お子さんが登校してから下校するまでの間のことで、決められた通学路での登下校や、遠足・運動会・修学旅行・児童会での活動なども含まれます。（治療内容によって対象外となることがあります。）
- ② 医師が診察し、応急処置等が終了したあとで、担任から保護者へ書類をお渡ししますので、医師に必要事項を記入してもらって、担任にご提出ください。
- ③ 給付金の請求は、1か月ごとに行いますので、治療が翌月までかかる場合は、新たに用紙をお渡しします。その場合は、お申し出ください。
- ④ 日本スポーツ振興センターの共済掛け金は、後日徴収させていただきますので、全員の加入をお願いします。（令和元年度は、保護者負担が460円、市負担475円）

あんぜん 安全について

<安全>

最近、子どもに対する誘拐やいたずらが増えています。大阪府警察本部青少年・地域安全室治安対策課では、下記のような注意を呼びかけています。ご家庭でも、お子さんに十分注意するようお声かけください。

誘拐・いたずらから子どもを守りましょう！

- 通学路や自宅周辺の「子ども110番の家」を子どもと一緒に確認しておきましょう。
- 次の『5つの約束』を普段からよく言い聞かせておきましょう。

子どもに伝える5つの約束

- 1 一人で遊びません。
- 2 知らない人についていきません。
- 3 連れて行かれそうになったら、大声を出して大人の人に助けを求めるか、近くの家に助けをもとめます。
- 4 だれとどこで遊ぶか、いつ帰るかを家の人に言うてから出かけます。
- 5 お友達が連れて行かれそうになったら、すぐに大人の人に知らせます。



- ① 安全に過ごせる街づくりのために、学校・保護者・地域社会が一体となって取り組むことがますます重要になっています。
- ② 緊急時には、集団下校等を行っておりますのでご協力ください。
- ③ ご自分のお子さんだけでなく、公園・空地・人通りの少ない路地などで、一人遊びをしている子どもを見かけたときは、声をかけて注意してあげてください。

不審者を見かけたり、子どもに対する誘拐やいたずらが発生した場合は、
まず110番通報をしてください。それから、学校に連絡してください。

<児童虐待>

児童虐待防止法第6条には、次のように定められています。

『児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。』

虐待は、子どもの心身の安全や成長を脅かすもので、家庭内におけるしつけとは明確に異なります。

子どもの安全確保を第一に考える必要があるため、虐待通告は間違っても許されます。虐待は自分で証明する必要もありません。気になる様子や心配なことがあれば学校や教育委員会又は直接子ども相談室に相談をしてください。学校も気になる情報を把握した場合は通告する義務があります。

自然災害時の措置について

茨木市では、地震の発生や気象警報等が発表又は発令された場合について、次のように定めています。

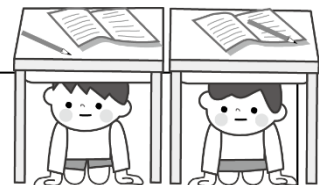
1 地震発生時の措置

*震度5弱以上の地震が発生した場合

- ・始業前に発生 → 臨時休校
- ・授業中に発生 → 授業中止（状況により学校待機、保護者に引き渡すまで保護・監督）
- ・登校時に発生した場合は原則登校。下校時は帰宅し、保護者が管理。

*震度5弱未満の地震が発生した場合

- ・学校施設の被害状況、通学路の安全状況により、臨時休校の措置をとるかどうかが判断するので、臨時休校の連絡がない限り登校する。



※ 臨時休校の期間は、被害状況により異なるため、学校から連絡します。

2 気象警報発表時等の措置

茨木市に「暴風警報」「特別警報（大雨・大雪・暴風・暴風雪）」が発表された場合及び校区内の地域に「避難勧告」「避難指示（緊急）」が発令されている場合は、次の措置をとります。

***午前7時の時点で「暴風警報」「特別警報（大雨・大雪・暴風・暴風雪）」が発令されている場合及び校区内の地域に「避難勧告」「避難指示（緊急）」が発令されている場合**

- ・自宅待機

***午前9時までに上記警報等が解除された場合**

- ・解除された時点で、安全に注意しながら登校

***午前9時に上記警報等が解除されていない場合**

- ・臨時休校

***登校後に上記警報等が発令又は発表された場合は、原則としてその時点で下校。**

***登校時に発表又は発令された場合は原則登校。下校時は帰宅し、保護者が管理。**

通学にバスを使用している学校もありますので、くわしくは各学校が事前に配布する文書を保存し、指示にしたがってください。



いばらきしがい てんこう 茨木市外への転校について

市役所本館1階市民課で「転出届」を提出し、転出の「通知書」を受けとってください。この通知書を今まで通学していた学校に提出し、「在学証明書」と「教科書給与証明書」を受けとってください。

受けとった書類は、転入先の市町村で転入届をしたあと、転入学する学校に提出してください。

なお、市民課への転出届は、引っ越し予定日の14日前から受け付けています。

いばらきしない てんこう 茨木市内への転校について

茨木市内で住所を変更されたときは、転居された住所の校区の学校に転校していただきます。

転居を予定されている場合は、転居の日と新住所が明らかになった時点で、通学している学校に連絡すると同時に、学務課で手続きをお願いします。（新しい学校での受入れがスムーズになります。）

転居されましたら、ただちに市民課に「転居届」を提出し、転入学又は転居の「通知書」を受けとり、この通知書を今まで通学していた学校に提出してください。その学校で「在学証明書」と「教科書給与証明書」を受けとり、新しく通学する学校に提出してください。同じ校区内での転居の場合は、通知書の提出のみとなります。

※ 市民課への転居届の提出は、引っ越しが完了した日から14日以内におこなってください。

くいきがいしゅうがく 区域外就学について

住所を偽って住民登録をし、区域外の学校に入学させる「越境入学」は認められません。しかし、学期途中での転居や、自宅の建て替え工事で校区外に仮住まいする場合など、一定期間、区域外通学が認められることがあります。保護者から学校長にご相談のうえ、学務課へ申請してください。

くわしくは、在籍される小学校または学務課（電話 620-1684）にお問い合わせください。

就学援助制度について

茨木市では、小学校や中学校への就学に必要な費用の援助を行っています。

1 援助を受けることができる方（次の①～③すべてに該当する方）

- ① 茨木市の市立小学校、中学校に在籍する児童生徒の保護者の方
- ② 前年中の一世帯あたりの所得総額が、基準額以下である方（世帯の人数により異なります）
- ③ 生活保護法の適用を受けていない方

【参考】

令和2年度の申請の場合、令和元年中（平成31年中）の一世帯あたりの所得総額が、下の表の額以下の方

- ・ 給与所得者の所得は、支払い額ではなく、給与所得控除後の金額となります。
- ・ 世帯単位で確認しますので、世帯の中で所得のある方全員の所得の合計額です。

世帯の 人数	認定所得基準額	
	借家世帯	持家世帯
2人	2,130,400円	1,951,000円
3人	2,597,200円	2,417,800円
4人	3,227,500円	3,048,100円
5人	3,549,700円	3,370,300円

【備考】6人以上の世帯は、1人増すごとに5人世帯の認定所得基準額に455,400円を加算する。

※令和2年度申請につきましては、入学式で配付する文書をご確認ください。

※借家世帯の所得基準の適用を希望される方は、賃貸契約書のコピーなど借家にお住まいであることが証明できる書類の提出が必要です。

※市外からの転入などで所得が不明な方は、所得証明書等が必要です。

2 援助の対象となる費目

学用品費・通学用品費・校外活動費、中学校入学準備金（6年生のみ）、学校給食費、野外活動費、修学旅行費、体育実技用具費（中学生）、卒業アルバム代（小学6年生・中学3年生のみ）、日本スポーツ振興センター掛金、学校病（※）の治療費

※ 認定を受けたお子さんが、学校における定期健康診断等の結果、学校病で治療 勧告を受けた場合は、学校に申し出て「医療券」の交付を申請をしてください。初診時に、医療券と健康保険証を医療機関に提出すれば、医療費が援助されます。
学校病とは、次のとおりです。下記以外では、医療券は使用できません。

トラコーマ、結膜炎（アレルギー性結膜炎を除く）、白せん、かいせん、のうか疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎（アレルギー性副鼻腔炎を除く）、アデノイド、う歯（健康保険の適用をうける治療は、すべて可）、寄生虫病（虫卵保有を含む）

3 申請先 …… 学校に申請します。

くわしくは、在籍される小学校または学務課学事係（電話 620-1684）にお問い合わせください。〔医療券については学務課保健給食係（電話 620-1681）〕

4 小学校入学準備金について（令和元年11月1日～令和2年2月28日まで申請受付中）

令和2年2月1日時点で、小学校就学予定者の保護者の方に対し、申請内容を審査のうえ、小学校入学準備金を支給します（平成31年度就学援助制度と同様の所得制限等あり）。くわしくは、学務課学事係またはご兄弟がお通いの茨木市立小学校にお問い合わせ下さい。

—9—

ほうかごこ きょうしつ 放課後子ども教室について

茨木市では、小学校の余裕教室などを活用し、放課後などの子どもたちの安全で安心な居場所を設ける事業を実施することにより、子どもの体験・交流活動の活性化を図り、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育むコミュニティづくりを推進することを目的とし、市内32全小学校区で、各校区実行委員会に委託し、地域ボランティアの方々にご協力いただき、放課後子ども教室を実施しています。

1 対象者

対象となる子どもは、当該小学校区に在住する小学校1年生から6年生までの児童です。

2 実施日と実施時間

各校区実行委員会を決めています。（校区によって異なります。）

3 実施場所

小学校の余裕教室などを活動拠点とし、運動場や体育館、その他校区内の施設を利用して実施します。

4 費用

無料ですが、講座などで実費が必要な場合があります。また、校区によりましては、登録時に傷害保険料が必要となります。

5 申込受付

校区実行委員会を受け付けをしますが、校区によりまして受付方法や受付時期などが異なりますので、各校区実行委員会から出される案内などをご覧ください。

くわしくは、社会教育振興課（電話 622-5180、茨木市立上中条青少年センター内）にお問い合わせください。

かいかつどう こども会活動について

こども会とは、一定の地域に居住する子どもたちが遊びを中心とする異年齢の集団活動を通じて、創造性・協調性・実践力を養い、自ら学び自ら考えることのできる「生きる力」を身につけることをねらいとした、地域で子どもを育てるための自主的な組織です。こども会に入会し、地域の友だちと楽しみながら様々な体験をしてみませんか。入会は、各地域のこども会育成会長に申し出てください。各こども会の連絡先は社会教育振興課までお問い合わせください。

くわしくは、社会教育振興課（電話 622-5180、茨木市立上中条青少年センター内）にお問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター事業について

いばらきファミリー・サポート・センターにおいて、地域で会員登録したものの同士が、子育てを助け合う事業を実施しています。育児の援助をしたい方（援助会員）と、援助を受けた方（依頼会員）が相互に援助します。例として、学校行事・通院・買い物等外出の際の一時預かり、子どもの習い事の送迎などです。「説明・登録会」で入会を受付けます。

（援助・両方会員は別途講習を受講のこと）

*病児・病後児（平熱より1度以上高い時）のサポートはできません。

くわしくは、「いばらきファミリー・サポート・センター」（電話 620-7101、東中条町2-13 合同庁舎5階）にお問い合わせください。

しえんきょういく 支援教育について

お子さんの発達に関して、保護者の気づきや専門家による指摘など、心配や悩みがありましたら、まずは学級担任又は支援教育コーディネーターにご相談ください。

お子さんの保護者と学校、専門機関が連携しながら、お子さんの状態について実態把握をし、適切な指導及び支援について考えていきます。

また、必要に応じて、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、お子さんにかかわる情報、長期的な教育的支援の目標や内容、短期的な指導目標・内容・方法について学校と保護者が共通理解しながら、支援をすすめていきます。

通常の学級で支援をすすめるながらも、個別の支援や指導等の教育的ニーズが出てきた場合は、特別の教育課程で『通級指導教室』や『支援学級』で学ぶこともできます。

『通級指導教室』への通級や『支援学級』への入級に関しても、まずは学級担任又は支援教育コーディネーターにご相談ください。通級又は支援学級入級について、お子さん・保護者・学校がていねいな話し合いや検討を十分に重ねた上で、お子さん・保護者の意見を最大限に尊重（可能な限りその意向）して決定します。



きょういく かん そうだん 教育に関する相談について

お子さんの教育に関することは、まず学校に相談してください。必要に応じて、学校から相談機関を紹介しします。学校に相談しづらいことや、子育ての悩みなどで相談したいことがあれば、学校以外にも次のような教育相談窓口があります。

茨木市では、不登校やいじめ、対人・交友関係、集団に馴染みにくいなど、子どもが抱えている「こころの悩み」や、発達に関する相談を行っています。

- 1 開設場所 茨木市教育センター
(茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)内及び教育委員会分室)
- 2 対象 茨木市内在住の児童・生徒及び保護者
- 3 時間 月曜日から金曜日までの午前8時45分から午後5時まで
(ただし、国民の祝日、年末・年始は除く)
- 4 種類と申し込み先
 - ① 面接相談・発達相談・不登校相談 【電話 626-4400】
予約制になっていますので、事前に電話で予約してください。日程調整した上で、専門の相談員が、保護者やお子さんとの面談を行います。
 - ② 電話教育相談 【電話 625-7830】
学習や進路などの教育に関する悩みの相談を行います。
 - ③ 「いじめ」ホッと電話相談 (午前9時から午後5時まで)
【電話 627-5511 大人用／フリーダイヤル 0120-147970 子ども用】
いじめに関する悩みの相談を行います。

くわしくは、教育センター(電話 626-4400)にお問い合わせください。
教育センター以外の相談機関も後ろのページに紹介していますので、ご覧ください。



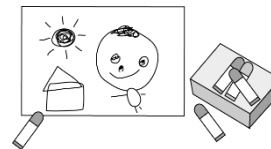
ふとうこうじどうせいとしえんしつ 不登校児童生徒支援室「ふれあいルーム」について

いばらきし
茨木市では、心理的又は情緒的原因等によって、とうこう
登校できない状況にある子どもたちに
たい
対して、きょういくそうだん
教育相談、こべつかつどう
個別活動、しゅうだんかつどう
集団活動を通して、がっこうふっき
学校復帰、しゃかいてきじりつ
社会的自立のためのしえん
支援を行っています。おこな

- 1 かいせつばしょ
開設場所 いばらきしきょういく
茨木市教育センター（きょういくいんかいぶんしつない
教育委員会分室内「きょういくしえん
教育支援ルーム」）
- 2 たいしやう
対象 いばらきしないうじやう
茨木市内在住で、心理的又は情緒的原因等により、とうこう
登校できない
じやうきやう
状況にあるじどう
児童・せいと
生徒
- 3 じかん
時間 げつ か もく きんようび
月・火・木・金曜日の午前10時から午後3時まで（ただし、こくみん
国民の祝日、
ねんまつ
年末・ねんし
年始、きょういく
教育センターがししてい
指定したひ
日はのぞく）
- 4 しえんないやう
支援内容
 - ① きょういくそうだん
教育相談
カウンセラーがじどう
児童・せいと
生徒やほごしや
保護者のしんりてき
心理的サポートを おこな
行います。
 - ② おも かつどう しどういん
主な活動：指導員のアドバイスを受けながらかつどう
活動を行います。おこな
 - ・ こくご さんすうとう じしゅう おこな きょうかがくしゅう
国語、算数等の自習を行う教科学習
 - ・ じつぎ ともな がくしゅう たいけんがくしゅうとう しゅうだんかつどう おこな そうごうがくしゅう
実技を伴う学習、体験学習等の集団活動を行う総合学習
 - ・ ひとり きょうみ かんしん そんちやう こじんかつどう
一人ひとりの興味・関心を尊重した個人活動
 - ・ たいかい えんそくなど しやがいかつどう
スポーツ大会や遠足等の所外活動
- 5 もうこ
申し込み方法
にゆうしつ きぼう
入室を希望される場合は、ばあい
担任・たんにな
校長とこうちやう
十分相談の上で、じゅうぶんそうだん
学校を通してもうしこ
申込みください。



た きょういくそうだんきかん その他の教育相談機関



そうだん きかん 相談 機関	ない よう 内 容	かえつじかん 開設時間	れんらくさき 連絡先
おおさかふきょういく 大阪府教育センター すこやかきょういくそうだん すこやか教育相談	いじめ、ふとうこう セクシュアル・ハラスメント こそだ 子育て、しつけ	(げつ)～(きん) 9:30 ～17:30 しゅくじつ ねんまつねんしやす 祝 日・年末年始休 み	☆ こどもからのそうだん すこやかホットライン 06-6607-7361 sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp ☆ ほごしや 保護者からのそうだん さわやかホットライン 06-6607-7362 sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp
おおさかふすいた 大阪府吹田 こ かい 子ども家庭センター	ふとうこうかていないいぼうりよく 不登校家庭内暴力 たいじんかんけい ふあん 対人関係の不安 いえで がいはく ぬす 家出・外泊・盗み しょう がいのある児童の 障 がいのある児童の よういく せいゆつしどう 養育や生活指導 ぎやくたい よういくこんなん 虐 待・養育困難	(げつ)～(きん) 9:00 ～17:45 しゅくじつ ねんまつねんしやす 祝 日・年末年始休 み	06-6389-3526
ローズWAM (だんじょきょうせい 男女共生センター)	かてい しごと い かた 家庭、仕事、生き方など、 じょせい さまざま なや 女性の様々な悩みにつ いてのそうだん いての相談	(げつ)～(ど) 10:00～16:00 かようびおよ しゅくじつ 火曜日及び祝 日 ・ねんまつねんしやす ・年末年始休み	でんわそうだん ☆電話相談 072-621-0892 ☆ めんせつそうだん よやくせい 面接相談(予約制) 072-620-9920
いばらき 茨木 しょうねん 少年サポートセンター	しょうねん ひこうもんだい 少年の非行問題につ いてのそうだん た なお いての相談と立ち直り しえん 支援	(げつ)～(きん) 9:00～17:45 しゅくじつ ねんまつねんしやす 祝 日・年末年始休 み	072-625-6677
そうだんしつ こども相談室	① こそだ そうだん 子育て相談 ② じどうぎやくたいそうだん 児童虐待相談 ・ つうこく 通告	① (げつ)～(きん) 10:00 ～16:00 しゅくじつ ねんまつねんし 祝 日・年末年始 やす 休み ② (げつ)～(きん) 9:00 ～17:00 しゅくじつ ねんまつねんし 祝 日・年末年始 やす 休み	① こそだ そうだんでんわ 子育て相談電話 めんせつそうだん よやくせい 面接相談(予約制) 072-624-0961 ② じどうぎやくたいそうだん 児童虐待相談 ・つうこくでんわ ・通告電話 072-624-8951